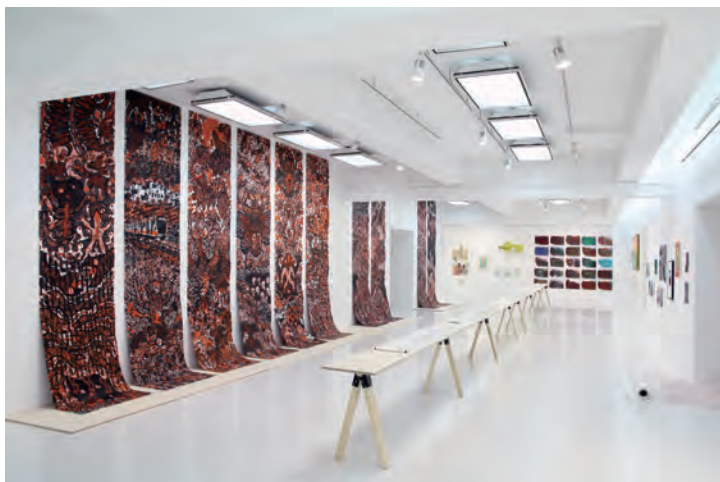


障がいのある人 × ない人 × アーティストによる全国公募展 ポコラート全国公募展 vol.7 開催のご案内

“「作品部門」128 点 「形にならない表現部門」6 企画の入選者が発表 ”



ポコラート全国公募展 vol.6 (2016 年) 開催時の様子

「こんなのを見せてくれて『ありがとう』と、
出合いを嬉しく思う」

(美術家 堀 浩哉)

「向こう側の世界に入り込んだその時間の
濃厚さを想像し震えそうになった」

(美術家 藤 浩志)

「これほどまでに、多様な作品が集まる事を、
どのように受け止め考えるべきか？」

未知なる原生林を彷徨い、まだ解明できて
いない生態を探っているようである」

(アーティスト/アーツ千代田 3331 統括ディレクター 中村 政人)

「ポコラート全国公募展」は、2011 年の開始以来、障害のある人・ない人を問わず、多種多様な背景を持つ作家たちが作品を発表・展示し、表現を通じて社会とつながる出発点としての役割を担ってきました。第 7 回目となる今回の公募展は、応募総数 1,414 点（作品部門：1,383 点／形にならない表現部門：31 企画）の中から入選を果たした 128 点、6 企画の展示・発表を行います。特に今回は「みること」をテーマに、作品を素材・色・形・技法などあらゆる角度から楽しんでいただけるような展示を予定しています。

また今回から新しい試みとして、より開かれた表現の場を目指し、これまで実施してきた「ワークショップ部門」を「形にならない表現部門」に名称を改め、再スタートしました。「語り」「身体表現」「ライブパフォーマンス」「ものを作る」「ことばの表現」などさまざまな表現形式での応募があり、会期中は入選 6 企画の紹介展示に加え、そのうち 4 企画をアーツ千代田 3331 内で実施いたします。

つきましては、本展覧会開催を広くご周知いただきたくご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

ポコラート全国公募展 vol.7

□会 期：2017 年 9 月 16 日（土）－10 月 9 日（月・祝）12:00-19:00 ※最終入場 18:30

□休場日：毎週火曜日

□会 場：アーツ千代田 3331 1 階メインギャラリー（千代田区外神田 6 丁目 11-14 旧練成中学校）

□入場料：一般 500 円、65 歳以上 300 円、中学生以下無料

※千代田区民は身分証明書のご提示で無料 ※障害者手帳をお持ちの方とその付き添いの方 1 名は無料

□主 催：千代田区、アーツ千代田 3331

□特別協賛：中外製薬株式会社 □協賛：三菱地所株式会社

<http://pocorart.3331.jp>



※「ポコラート (POCORART)」とは Place of “Core + Relation ART” 「障がいの有無に関わらず人々が
出合い、相互に影響し合う場」であり、その「場」
を作っていく行為を示す名称です。フランス語の
〈アール・ブリュット〉(＝純粋なる芸術)の意味を
より広く捉えた 3331 独自の概念となっています。

ポコラート全国公募 vol.8 まもなく募集スタート！

□応募期間：2017 年 10 月 1 日（日）～12 月 23 日（土・祝）予定

□応募作品一挙公開：2018 年 2 月下旬予定

□ウェブサイト：<http://pocorart.3331.jp> 近日公開予定

[このプレスリリースに関するお問い合わせ先]

3331 Arts Chiyoda | アーツ千代田 3331

〒101-0021 東京都千代田区外神田 6 丁目 11-14 TEL: 03-6803-2441 FAX: 03-6803-2442
E-MAIL: pr@3331.jp (ポコラート担当：嘉納、穴戸／広報担当：彦根・稲葉) URL: <http://www.3331.jp>

■ポコラート全国公募展 vol.7 作品部門

作品部門では、応募作品 1,383 点の中から選ばれた入選作品 128 点を展示します。
作家たちの自由で独創的でエネルギーに満ちあふれた作品がメインギャラリーを埋めつくします。

【「作品部門」応募・入選データ】

応募作品数	1,383点	入選作品数	128点
応募者数	900 組	入選者数	96 組
応募者のうち 障がいのある方	83%	入選者のうち 障がいのある方	82%

※障がいの有無は応募者の自己申告によるものです ※グループ制作など個人の詳細が不明なものは含まれていません

入選者数 (年代別)	10歳 未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
	0	11	21	30	21	3	4	1	1
入選者数 (地域別)	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄
	9	4	50	9	15	1	5	1	1

【「作品部門」審査員】堀 浩哉、箭内 道彦、藪前 知子、藤 浩志、中村 政人

【審査員による選評】



堀 浩哉（ほり こうさい／美術家、多摩美術大学名誉教授）

“自分が想像もつかないようなすごいものを見たい、驚きたいという気持ちで見ていくと自ずと目に飛び込んできたものがあった。それを自分なりに選んだが、本当は「審査」などということには馴染まない対象なのかもしれない。こんなのを見せてくれて「ありがとう」と、出会いを嬉しく思う。”



箭内 道彦（やない みちひこ／クリエイティブディレクター、東京藝術大学美術学部デザイン科准教授）

“審査をしながら、アートというものがこんなに世界や社会で必要とされている時代はないのではないかと感じた。言語で否定し合う、互いを認め合うことができないこの今の日本に、芸術の果たすべき役割の重さと大きさを。”



藪前 知子（やぶまえ ともこ／東京都現代美術館学芸員）

“こちらが作品を読み取る時に、普段使っているような知識や経験が通用しない。美術史やほかの作品からの影響ではなく、その人独自の文脈から立ち上がるものを注視する経験は、美術とは、表現とは何かを改めて考えさせられる貴重な機会になった。”



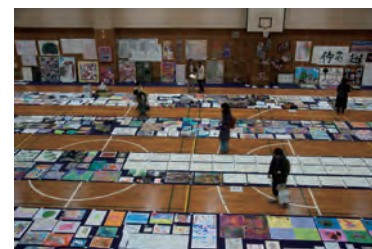
藤 浩志（ふじ ひろし／美術家、秋田公立美術大学教授）

“作品を見ながら、その人の生活の中の時間の質がどのように変化していたのだろうと考えていた。どういう時間を過ごし、何に向きあっていたのだろうか。向こう側の世界に入り込んだその時間の濃厚さを想像し震えそうになった。”

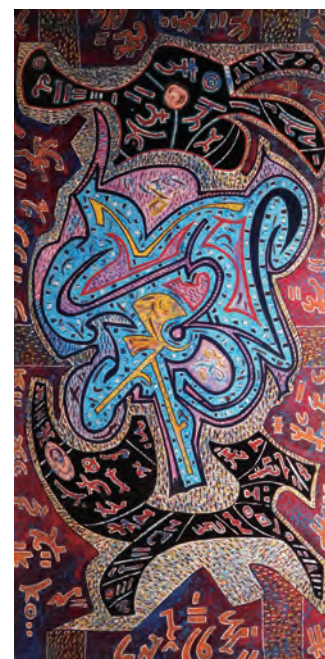


中村 政人（なかむら まさと／アーティスト、東京藝術大学教授、アーツ千代田 3331 統括ディレクター）

“これほどまでに、多様な作品が集まる事を、どのように受け止め考えるべきか？未知なる原生林を彷徨い、まだ解明できていない生態を探っているようである。既存の美術界で発表される画一的な作品群とは、明らかに出自が異なっている。ポコラート出展作品の多様性には、これからの社会を進化させる革新的思考が隠れている。”



応募総数 1,385 点の中から
128 点の作品が選ばれました
《ポコラート全国公募 vol.7 応募作品一挙公開！より
(2017 年 3 月 3 日～5 日 アーツ千代田 3331 にて開催)》



Ibrahim Chahamata イブラヒム・チャハマタ
《無題》
キャンバスに油彩
ニジェール在住（トゥアレグ族）
＊展示予定作品

入選作品の中から、各審査員が 1 作品を選出する「**審査員特別賞**」、千代田区長による「**千代田区長賞**」、来場者投票による「**オーディエンス賞**」を選出します。会場投票は 10 月 8 日（日）まで。結果は 10 月 9 日（月）に WEB サイトと会場にて発表します。賞の受賞者は、2018 年に開催する受賞者グループ展に参加します。

[このプレスリリースに関するお問い合わせ先]

3331 Arts Chiyoda | アーツ千代田 3331

〒101-0021 東京都千代田区外神田 6 丁目 11-14 TEL: 03-6803-2441 FAX: 03-6803-2442
E-MAIL: pr@3331.jp（ポコラート担当：嘉納、矢野／広報担当：彦根・稲葉） URL: http://www.3331.jp

■ポコラート全国公募展 vol.7 形にならない表現部門

形にならない表現部門では、応募作品 31 企画の中から選ばれた入選作品 6 企画を紹介します。
会期中、全入選作品の紹介展示に加え、アーツ千代田 3331 内で 4 企画を実施いたします。

【「形にならない表現部門」応募・入選データ】

応募作品数	31 企画	入選作品数	6 企画
応募者数	24 組	入選者数	6 組
応募者のうち障がいのある方	50%	入選者のうち障がいのある方	66%

入選者数 (年代別)	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
	0	2	0	1	2	0	0	0	0
入選者数 (地域別)	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄
	0	0	3	0	3	0	0	0	0

※障がいの有無は応募者の自己申告によるものです ※グループ制作など個人の詳細が不明なものは含まれていません

【「形にならない表現部門」審査員】大月 ヒロ子（おおつき ひろこ／IDEA,INC. 代表取締役）、堀 浩哉、藤 浩志、中村 政人

【審査員による選評と企画内容】

オモシロイ？リズム？それは風だ！

企画者：いけがみアイズ



*会期中、ギャラリーB
にて紹介展示

選評

展示会場の中の「作品」たちにまぎれて、「眼を閉じて、周囲の音に耳をかたむけて」という言葉が掲げられている。展示会で眼を閉じろ、とはいったいどういう事なのかと意表をつかれる。しかし、見るという主要な情報をいったん遮断することで、音や臭いや空気に対する感覚が異様にとぎすまされてくることに気づく。観客の感覚をささやかに異化する、作者の企みが楽しい。（堀 浩哉）

企画内容

会場に来場されたお客様の咳、足音、私語などに耳をかたむけ、そのリズムと熱をひとつの作品として感じる、という企画です。時には目を閉じて、周囲の音に耳をかたむけてみて下さい。私たち鑑賞者も作品の一部かもしれません。

“ことば+つむぐ”

企画者：中村 和暉



*会期中、ギャラリーB
にて紹介展示

選評

中村さんは、指揮者が指揮棒を振るように空中で人差し指を素早く動かしながら日々言葉をつむいでいるようだ。つまり、目の前で繰り広げられている事象を言葉で編集、レイアウトするように知覚し声を発していく。無限の風景から断片を描写するように声をだす。言いかえると、ジョンケージがチャンスオペレーションで歌詞や作曲を試みたように、例えば新聞を切り抜きランダムに並べひとつの詩をつくったように、他者との影響関係をおし独自の知覚表現を生みだしている。一度、聞くと作品の残音がもう一つの日常に誘われるように心に残る。（中村 政人）

企画内容

2016年初夏、普段言葉による会話を行わない中村さんが突然流暢にしゃべりだしました。世界中に溢れることばの中から彼が選ぶことばたちは時にユーモラスで時に美しい。何より、声の質感・調子が絶妙に心地よい。彼にとって『ことばをつむぐ』という行為そのものが自己表現のひとつになっているのではないのでしょうか。会場では、ビデオと音声による発表を行います。

[このプレスリリースに関するお問い合わせ先]

3331 Arts Chiyoda | アーツ千代田 3331

〒101-0021 東京都千代田区外神田 6 丁目 11-14 TEL: 03-6803-2441 FAX: 03-6803-2442

E-MAIL: pr@3331.jp (ポコラート担当：嘉納、央戸／広報担当：彦根・稲葉) URL: <http://www.3331.jp>

＊下記4企画は、会期中ギャラリーBでの紹介展示に加え、企画の実演も行います。

知ったかアート大学 アーツ千代田校

企画者：佐藤 悠



9/16 (日)
10/ 9 (月・祝)

14:00-16:00

定員：30名 参加費：各300円

選評

空間を作る。場をつくる。その手法は様々にある。「語り」あるいは「しゃべり」を重ねることでその場の空気感を変容させる。言葉のメッセージとか意味を超えて、その場を共有する人々のイメージをつなぎ、期待の時間へと変化させる。面白い。(藤 浩志)

企画内容

佐藤悠が持つ口承表現を一気に解放します。のべつまくなし、一気呵成に話し続ける2時間です。洞窟壁画からアートプロジェクトまで、約2万年の美術の歴史を2時間でつなぐ「知ったかアート大学」を披露します。
＊9/16・10/9は上記の時間に加えて、(12:00～13:30、16:30～18:30)の間に、ギャラリーBにて、即興物語作り「いちまいばなし」を随時上演いたします。

踊るラッキーBOY想真と「地球ハッピー体操」を踊ろう！ みんなで優しいワクワクした地球を作りたい！

企画者：想真



9/24 (土)

14:00-15:30

定員：20名 参加費：各300円

選評

何かをつかもうと、何かにつながろうという動き。あるいは体内に潜んでいる遺伝子の記憶に働きかけ、外側の環境を結ぼうとする強い無意識を表現する行為。人は言語を超えて、認識を超えて、エネルギーのシンクロのようなものを導き出そうとしているのだろうか。興味深い。(藤 浩志)

企画内容

まずは想真パフォーマンス公演「宇宙風糸」を上演。観劇後、みんなでいろいろな地球に対する想いを話し合ったり、簡単に身体を動かしたりしてみます。最後にみんなでワクワクの地球ハッピー体操を踊ります。

サウンドアート

企画者：ふくろ



9/23 (土)

14:00-14:40

定員：20名 参加費：各300円

選評

四肢が不自由な「ふくろ」さんは、自由に動く頭部に、スティックを付けたヘッドバンドを装着してシーケンサーを操作し作曲する。その曲は、素朴な即興演奏のようにも聞こえるが、実に伸びやかである。作者が自分の慣れ親しんだ「音」や「身体性」を、一度できる限り解体して、その上で生じた未知の要素を再びゆるやかに構成するという、知的な操作を加えているからこそ、この伸びやかな開放感なのではないだろうか。(堀 浩哉)

企画内容

企画者のふくろは、脳性麻痺による四肢機能障がい。首から上部は自由に動かせるため、頭に装着した棒でシーケンサーを操作し作曲活動を行っています。当日は即興作曲パフォーマンス(様子を投影)や、腕の不随意運動を使って曲に合わせ演奏も行います。

“糸巻きワイヤー” ワークショップ

企画者：西淡路希望の家 クリエイト班



9/30 (土)

13:30-15:30

定員：30名 参加費：各300円

選評

なぜ、この糸巻きワイヤーに惹きつけられるのだろうか。一つは豊かな色彩。二つ目はワイヤーの可変性。作り手の気ままな指示に従う素直さが心地良い。三つ目は、ワイヤーに糸を巻いていく単純な動作。考え事をしても、おしゃべりしても、なんの影響も受けない。が、出来たものは、巻いたり、場合によっては壁を這わせたり、絡ませたりと構成は自由。一つでも、沢山集まっても、点在しても、素敵な光景を作るだろう。誰でも体験できるが、奥行きは深く、展開は無限である。(大月 ヒロ子)

企画内容

針金に、好きな糸を選んで、ただただクルクル巻く！巻く！巻く！！ただただそれだけの単純な行為。これが人によって様々な模様になります。キッチリと細い糸を隙間なく巻いたり、気に入った糸を束のままグルグルと巻き込んだり・・・巻き終えたワイヤーはそのままでも十分美しいのですが、アクセサリやインテリアにも変化します。

[このプレスリリースに関するお問い合わせ先]

3331 Arts Chiyoda | アーツ千代田 3331

〒101-0021 東京都千代田区外神田 6 丁目 11-14 TEL: 03-6803-2441 FAX: 03-6803-2442

E-MAIL: pr@3331.jp (ポコラート担当：嘉納、穴戸／広報担当：彦根・稲葉) URL: <http://www.3331.jp>

■ポコラート全国公募展 vol.7 関連イベント

アーティスト・トーク



9/17(日)

14:30-16:30

参加費：無料
※展覧会チケットで参加可



出展中の作品や日々の活動などについて、出品作家が会場でお話します。さまざまな作家の声が聞ける大変貴重な機会です。支援者も交えた意見交換など、参加者同士の交流の場にもなっています。

ポコラート会議 2017



9/18(月・祝)

第1部 17:30-19:00

第2部 19:00-20:30

定員：80名 参加費：500円

第1部 17:30～19:00 「みんなで考えるポコラート 2017」

作品が創作の場、発表の場を経て、その後社会と関わっていく上でどのように価値評価されていくのか。美術、福祉など様々な現場で活躍する方々に参加頂き、意見交換をします。

第2部 19:00-20:30 「審査員トーク 2017」

【登壇者（予定）】堀浩哉、箭内道彦、藪前知子、大月ヒロ子、藤浩志、中村政人

「作品部門」と「形にならない表現部門」の審査員たちが、ポコラート全国公募展 vol.7 の入選作品やポコラートの今後の可能性について語ります。

みえかたイロイロ！ポコラート鑑賞ツアー

9/18(月)

13:00-14:00 *千代田区民対象

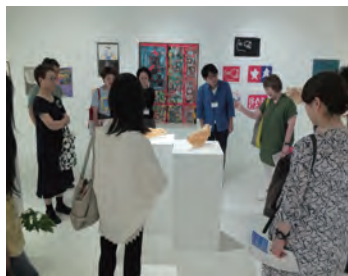
9/30(土)

①13:00-14:00 ②15:30-16:30

10/1(日)

①13:00-14:00 ②15:30-16:30

定員：各回10名 参加費：無料 展覧会チケットで参加可



ポコラート全国公募展 vol.6 (2016 年) 開催時の様子

3331 スタッフのガイドによる対話型の鑑賞ツアーです。参加者同士でおしゃべりをしながら会場を巡ります。障害の有無に関わらず、みんなでポコラートについて語り合いましょう！

ポコラート全国公募展 Vol.7 [形にならない表現部門]4企画・関連イベント 参加申込概要

[お申込方法]

■申込先

[E-mail] ws1@3331.jp [Tel] 03-6803-2441(代表) [Fax] 03-6803-2442

※件名：「(お申し込みのイベント名)申し込み」とご記入ください

※メール環境の無い方は、お電話またはFAXにて受付いたします

■必要事項

① お名前(ふりがな) ② ご年齢 ③ 当日のご連絡先(携帯電話など) ④ 障がいの有無と介助状態(介助者同伴など)

⑤ その他、当日配慮することや必要な介助などがございましたらお知らせください

※介助者同伴の場合、介助者の必要事項についてもご連絡ください

※全イベント、小学生未満保護者同伴

[このプレスリリースに関するお問い合わせ先]

3331 Arts Chiyoda | アーツ千代田 3331

〒101-0021 東京都千代田区外神田 6 丁目 11-14 TEL: 03-6803-2441 FAX: 03-6803-2442

E-MAIL: pr@3331.jp (ポコラート担当：嘉納、穴戸／広報担当：彦根・稲葉) URL: <http://www.3331.jp>